

2017年(平成29年)3月31日(金) NO 108号

# K-PURO NEWS

## 【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	<a href="http://www.k-puro.co.jp">http://www.k-puro.co.jp</a>
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

## 【業務内容】



機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ設置	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

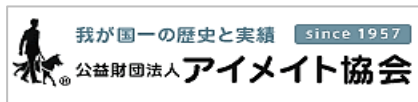


## 【加盟団体】



RID2770	川口モーニングロータリークラブ	<a href="http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/">http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/</a>
NPO 法人	さいたま起業家協議会	<a href="http://www.saitama-kk.org/">http://www.saitama-kk.org/</a>
公益社団法人	千葉東法人会	<a href="http://www.chibahojin.jp/">http://www.chibahojin.jp/</a>
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	<a href="http://www.rinri-chiba.org/">http://www.rinri-chiba.org/</a>
公益財団法人	モラロジー研究所	<a href="http://www.moralogy.jp/">http://www.moralogy.jp/</a>

## 【応援団体・企業】



## ごあいさつ



つらい仕事の最中にかけられた「ありがとう」のひと言で  
 疲れが吹き飛び元気が湧いてきた。。  
 そんな経験はないでしょうか。  
 「ありがとう」という言葉は元気の源といえそうです。

逆に「忙しい」「疲れた」等の言葉を使うと元気は失われます。

そこには“自分は誰よりも頑張っている”という自己顕示が隠れているかもしれません。

何気なく使った言葉でも、自分はもとより周囲にも大きな影響を与えます。

日々、積極的に明るい言葉を使っていきたいものです。

代表取締役 木戸 良樹

## 今月の良い話

## 「繁栄の法則」

あらゆる場面で大切なことは、平凡ですが感謝ということです。  
この感謝の気持ちの大切さは、裕福な時はなかなかわからないものです。  
むしろその気持ちそのもの通じない。

例えば絹の布団で寝たり、羽毛の布団で寝たり、  
暖房の効いている部屋で寝ていると、外の寒さがわからないのと同じです。  
子供たちが裕福な環境で育ち、次から次へとチャンスと物を与え続けられていると  
周囲に感謝する大切さがわからなくなるんです。わからないまま大きくなるんです。

感謝にはもう一つ大切な意味があります。  
それは、ありがたいと思うだけではなく、その気持ちを  
今度は人に返していくことによって、感謝の心は  
完成するものなのです。だから、  
「ありがたい、ありがたい。ああ、ありがたい」  
と言って、いつも人からもらってばかりでだめです。  
感謝し、本当にありがたいと思ったらその感謝の気持ち  
を、何らかの形で社会に還元することが大切です。  
同じ人に返さなくてもいいけれども、世間に必ず返すということです。



「感謝は返謝をしてこそ完成する」のです。  
返謝のない感謝はただもらうだけの人生になる。  
いつももらうことを目指してしまう。  
そしてもらえないと目じりがつり上がる人になってしまう。  
いつも人に良きものを与えてごらん下さい、物でなくて気持ちでも何でもいいから与えてごらん  
下さい。

記事提供 致知出版社



北川 八郎 1944年福岡県生まれ 陶芸家

防衛大学中退後、サラリーマンとなるが「いのちの輝きのない都会生活」  
に疑問を感じ人生の答えを求めて退社。  
インド放浪の後、1985年に信州から九州阿蘇外輪山の小国郷に移住。  
41歳で41日間の断食、43歳で46日間の断食に導かれ、  
「人としての小さな光明を得た」。  
宗教とは関係なく今世、人を許し、怒りを少くし、罪少く生きる事、いつも人  
の善の為に祈る事を命題として与えられた。

平凡な一人として平和感と安らぎの内に自然の中で暮らして行くために歴史が息づく南小国町  
で「満願寺窯」を開き、自然灰釉の器を創作する一方自作農業に勤しみ「七陶三農」の生活を送  
る。人々に「祈りを伝える者」として生きることが残りの仕事と感じている。

## 今月の良い話 「腹八分目」



廣池千九郎は、「末広性」という言葉の意味を「長くてそうしてそれが段々に終わりに広がってくること」と説明しています。

「くどいようであれど重ねて申すが、第一に注意すべきことは、自分の力以上のことをして無理せぬようにすべし。すべて正に持久的に進む方針を執るべし」

「鶴が千年の寿命を保つのは、腹八分目にくうからじゃ。経営者は急進的な繁栄を望まないで、力相応、斬新的に進め」

と述べており、この「持久性」「斬新的」という言葉からは、廣池が企業の永続を考えるうえで、その「成長スピード」が、どうあるべきかという点を非常に重要視していることが分かります。また、その適正な成長速度の目安としては、「無理せぬ」「力相応」という言葉を使っています。つまり言葉を換えて言えば、廣池は「自己の力以上」の「急進的な」成長・発展は永続を妨げるマイナス要因だとみなしているのです。

だからこそ廣池は「末広性」ある経営を永続経営の根幹として特に重要視したのだと言えます。

廣池が力以上の急進的な成長速度を戒めるのは、それが万物を生成化育する「宇宙自然の法則」に敵っていないからにほかなりません。皆さんは「満腹ネズミ」の話をご存知でしょうか。ネズミの食事と寿命の関係を東京都老人総合研究所が実験調査したところ、毎日腹半分食べたネズミが720日生きたのに対し、腹八分目に食べたネズミは1220日生き、逆に満腹のネズミはその半分の、わずか680日しか生きなかったのです。

ネズミの寿命はおおよそ2年(730日)とされますから、腹八分目のネズミは、その1.6倍も長生きした反面、満腹ネズミは平均寿命も全うできず、早死にしたわけです。

この実験で設定された「満腹」状態とは、適正以上の栄養価を毎日急ペースで摂り続ける状態ですから、この実験結果は、この自然界に、急進的な成長＝短命となる法則があることを示していると言えます。

日本で古くから「大食は命の取り越し」と言われる所以でしょう。

また、この実験結果は同時に「腹半分」でも長寿は得られないことをも示しており、この点からも、廣池が「力相応」「斬新的」な成長を、永続へのベストプラクティスとして強調する理由が分かります。なぜ、「満腹ネズミ」が短命に終わるかについては、過食が消化器系に過大な負担をかける、栄養過多が肥満につながり、それが高血圧や高血糖を招くなど多くの理由があるようです。

それはつまり、無理な急成長は、やがて必ず相当分の反動を招くことを意味しています。

これについて廣池は、「ものには、すべて“反動の法則”というものがある。従来の商人は反動というものを知らない。いま結果が来たとする、すぐ図に乗ってますます利己主義を現す。

そして次には必ず不良な時が来るものである」と指摘しています。



最近特に、急成長こそ善とばかりに、上場や買収による企業規模拡大を急ぐ風潮が感じられますが、これには、株主視点から短期的な成長や利益向上を最善とする米国型の価値基準の影響があります。しかし身の丈の合わない成長を追うことは、「満腹ネズミ」のごとく、一時はよくとも必ずどこかに無理を生じ、社命を「太く短い」ものとする危険性があるのです。

**事件ファイル NO108 海外旅行時の留意点**

■海外旅行時、スリやひったくりを予防するためには、最低限次のことに注意しましょう。

- 1 多額の現金や高価な品を持ち歩かない
- 2 ホテルの部屋には貴重品を置かず、セーフティボックスに預ける
- 3 手荷物を持ち歩く時は肌身離さず持ち歩く
- 4 大きく口の開いたバッグを使わない
- 5 肌の露出が高くなるような洋服は避ける

また、スーツケースなどには、ロック付スーツケースベルトをつけることなども大切な荷物を盗難から守るのに役立ちます。



■万が一のトラブルへの備え

海外旅行に出かける際には、トラブルへの備えも大切です。

- 1 パスポート番号や渡航先の日本大使館・総領事館の連絡先、クレジットカードのコールセンターの番号などを控えて持参する
- 2 パスポートは最初のページを見開きでコピーをとり、自分用に携帯し、家族用に保管しておく、トラブルに巻き込まれた際の所在・安否確認に有効です
- 3 海外旅行保険に加入する

**プロ太の小話集 NO108 『雷』**

孫 「おばあちゃん、雷は電気なんだってね」

祖母 「うそおっしやい。ランプの頃からありましたよ」



今月の K-PURO ニュースいかがでしたか？

格安旅行会社の「てるみくらぶ」は多額の負債を抱えながら粉飾決算を繰り返していた挙句、新卒社員を 50 名も採用していたという常識では全く考えられないことを行っていました。

その内定取り消しの方たちに、財団法人 JALF や岐阜の建築会社が受け入れを表明しているニュースを観て、日本の会社って素晴らしいなと感じました。

「てるみくらぶ」のような無責任の会社もあれば、その困っている内定者たちを受け入れる企業もある。ニュースを観るまで私自身全く想定していなかったその対応に心が温かくなりました。

遅ればせながら、弊社でもその内の 1 名なら採用可能ですので、もしよかったら話を聞きに来ませんか？一緒に新しい未来を築いていきましょう。

注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です (体長 10 メートル・体重 1 トン・無敵無敗)